

弘前城石垣修理

第3回

～ 100 年前の石垣崩落と修理工事～

弘前城本丸の石垣は、明治時代に度々崩落しています。高照神社（高岡）に、天守台下の石垣が崩れた様子を写した1枚の古写真が残されています。明治初期の出来事だと思われますが、詳しい記録は残っていません。



△明治初期の天守台石垣崩壊（高照神社所蔵）

明治27年（1894）以降、再び天守台付近の石垣が崩落します。崩れた石垣は、大正4年（1915）までかかって修復されました。修理については、何枚かの古写真からおおよその状況を知ることができます。

崩れた石垣を修理するため、天守は西側へ曳屋（ひきや）されました。曳屋は、弘前市出身の大工棟梁・堀江佐吉の指揮の下に行われました。佐吉は、旧第五十九銀行本店本館（青森銀行記念館）・旧弘前市立図書館など、現在も残る優れた洋風建築を多く手掛けた棟梁として知られています。当時は重機のない時代ですから、滑車やコロ（丸太）を用いて天守を動かしたと思われます。

古写真を見ると、長さ10m近い電柱のような丸太を立て、その上の部分に紐状のものを複数巻いて四方より引き合せて固定し、滑車を取り付けています。また、天守の下にコロ用の丸太が並べられているようにも見えます。人力で天守が南東隅の天守台まで運ばれ、引き上げられるまでの途中段階を撮影した写真と考えられます。石垣の石材も、ほとんど人力によって積み上げられたことでしょう。



△明治29年以降の石垣崩壊（弘前図書館所蔵）
天守が西側に曳屋されているのが分かる。



△石垣修理工事の様子（弘前図書館所蔵）、大正4年（1915）ころの撮影

現在、石垣修理のために行われている弘前城本丸の発掘調査では、天守台より北側に13mほどの範囲内で、大きさ20cmほどの玉石を多量に含む白色粘土の広がりが確認されています。この粘土層の広がり、江戸時代に城を造るために盛った土よりも新しく、また、崩れた石垣の石材混入が見られることから、明治～大正の石垣修理の痕跡であると推測されます。調査の進展により、石垣構築に関する新発見が期待されることです。



△発掘調査で確認された、明治～大正の石垣修理の痕跡

※弘前城本丸石垣修理事業について、詳しくは下記 URL をご覧ください。

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/kanko/shisetsu/park/ishigaki.html>

■問い合わせ先 公園緑地課弘前城整備活用推進室（弘前公園緑の相談所内、☎ 33・8739）

弘前城の内濠埋め立て工事を開始します

弘前城では、本丸石垣修理に伴う天守曳屋工事を来年に控え、今年11月より内濠の埋め立て工事をを行います。10月中旬から濠の水を抜き始め、11月には埋め立てに着手する予定です。なお、本丸へは工事中もこれまで通り入城することができます。

また、天守も例年通り11月23日まで開館します。現在、弘前藩や弘前城に関わる歴史資料の展示が行われていますが、これらの資料は天守曳屋工事準備のため、冬期間中に搬出される予定です。来年4月1日の天守開館時には展示品はなく、建物内部のみの公開となりますのでご了承下さい。

■問い合わせ先 公園緑地課弘前城整備活用推進室（弘前公園緑の相談所内、☎ 33・8739）

弘前城石垣シンポジウム

市では現在、約100年ぶりとなる弘前城本丸石垣の修理事業を実施しています。この修理事業は10年以上にも及ぶ大事業ですが、実は全国各地のお城でも、大小さまざまな石垣修理が毎年実施されています。

今回開催する「弘前城石垣シンポジウム」では、奈良大学学長で城郭史の専門家である千田嘉博さんが、城郭史から見た、弘前城とその石垣の特徴について講演します。

さらに同時開催として、市立観光館で「全国石垣修理パネル展」を開催します。

弘前城のみならず、全国のお城と石垣について知ることができる機会です。ぜひおいでください。

【弘前城石垣シンポジウム】

▽とき 10月25日（土）、午後1時～5時

▽ところ ホテルナクアシティ弘前（旧ベストウェスタンホテルニューシティ弘前、大町1丁目）3階プレミアムホール

▽内容

○基調講演 「城郭史から見た弘前城と本丸石垣」（仮



弘前のいろいろなことについてのクイズだよ。答えはどこかのページに隠れているから探してね！

【質問】

弘前城本丸の石垣の高さは、一番高いところで内濠の水面から何メートルくらいあるのかな？

下の3つの中から選んでね。

①約 6メートル

②約 11メートル

③約 15メートル

称) …講師・千田嘉博さん（奈良大学学長）

○各城跡担当者による事例報告 熊本城跡・金沢城跡・仙台城跡・弘前城跡（予定）

○パネルディスカッション コーディネーター・金森安孝さん（仙台市市民文化事業団富沢遺跡保存館・地底の森ミュージアム館長）／パネラー・千田嘉博さんおよび各城跡担当者

▽参加料 無料

※事前の申し込みは不要。

【全国石垣修理パネル展】

▽とき 10月24日（金）～26日（日）、午前9時～午後5時

▽ところ 市立観光館（下白銀町）多目的ホール

▽内容 全国約20のお城の石垣修理事業について、写真パネルで紹介します。

▽見学科 無料

※事前の申し込みは不要。

■問い合わせ先 文化財課埋蔵文化財係（岩木庁舎内、☎ 82・1642）